

教科・「科目」	工業・「建築計画」	単位数	学習形態	学年	履修学科、必修・選択の別 等
		2	座学	3	建築科必修科目

1. 目標と評価規準

目標	建築計画に関する知識と技術を習得させ、建築物を安全で快適、合理的に計画する能力と態度を育てる。		
評価の観点と比重	評価規準		評価の方法
関心・意欲・態度 (15%程度)	建築計画に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。		学習状況等
思考・判断・表現 (15%程度)	建築計画に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断する能力を身に付けている。		学習状況等 提出物の内容 小テスト 定期考査等
技能 (30%程度)	建築計画の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用し、表現する創造的な能力を身に付けている。		提出物の内容 定期考査等
知識・理解 (40%程度)	建築計画の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。		提出物の内容 定期考査等
使用教材等	建築計画(実教出版)		

2. 年間指導計画

学期	月	単元・教材名	主な学習内容	ICT利活用
1 学期	4	「建築計画」を学ぶにあたって	・建築計画とは ・地球環境と建築計画 ・日本の建築の歩み、世界の建築の歩み ・「建築計画」で学ぶこと	電子黒板に資料を提示 学習用パソコンに資料を提示 学習用パソコンで小テスト実施
	5	第1章 建築計画と環境 1 建築と環境の概要 2 屋外環境と室内環境	・環境の保全と建築物の快適性 ・環境の要素	電子黒板に資料を提示 学習用パソコンに資料を提示 学習用パソコンで小テスト実施
			・外部気候 ・都市の環境 ・室内気候	
			・室内の空気汚染 ・換気 ・通風	
	6	3 換気と通風 4 伝熱と結露	・熱貫流 ・蓄熱 ・結露	
			・日照と日影 ・日射 ・日照調整と日射熱の利用	
	7	6 採光と照明 7 色彩	・人の視覚と光の量 ・採光 ・照明	
・色の表し方 ・色彩と心理 ・色彩計画				
9	8 音響	・音の性質 ・遮音と吸音 ・騒音 ・音響設計		
2 学期	10	第2章 住宅の計画 1 住宅の意義 2 住宅計画の進め方 3 全体計画 4 各部の計画	・住宅の役割 ・住宅の種類 ・住宅の構成 ・住宅の性能 ・計画の役割 ・建築計画の順序 ・住宅の企画 ・住宅の計画 ・家族の共同的な空間 ・個人の生活空間 ・その他の空間	電子黒板に資料を提示 学習用パソコンに資料を提示 学習用パソコンで小テスト実施 学習用パソコンで住宅設計
			第3章 各種建築物の計画 1 集合住宅の計画 2 事務所の計画 3 小学校の計画	・集合住宅の意義 ・全体計画 ・各部の計画 ・避難、消防計画 ・事務所の意義 ・全体計画 ・各部の計画 ・防災、避難計画 ・小学校の意義 ・全体計画 ・各部の計画 ・防災、避難計画
	12	第4章 都市と地域の計画 1 都市と都市計画 2 都市計画制度と都市計画法	・都市をつくる都市計画 ・都市計画の意義	電子黒板に資料を提示 学習用パソコンに資料を提示 学習用パソコンで小テスト実施
3 学期	1	第5章 建築設備の計画 1 建築設備の概要 2 給排水・衛生設備 3 空気調和・換気設備	・建築設備の目的と内容 ・建築設備の基本事項 ・給水設備 ・給湯設備 ・排水設備 ・浄化槽 ・空気調和設備 ・暖房、換気設備	電子黒板に資料を提示 学習用パソコンに資料を提示 学習用パソコンで小テスト実施
			第6章 建築の移り変わり 1 日本の建築(原始から近世まで) 2 西洋の建築(古代から近世まで) 3 近代の建築 4 現代の建築	・住宅建築 ・宗教建築 都市 ・古代の建築 ・中世の建築 ・近世の建築 ・ヨーロッパの近代建築 ・アメリカの近代建築 ・日本の近代建築 ・世界の現代建築 ・日本の現代建築
	3			

備考	
----	--